

Millennium Promise Japan

年末ご寄付のお願いです

～MPJへのご寄付は、税制控除、所得控除の対象となります～

南スーダンの難民支援を開始いたします！

今年も年の瀬が近づき、慌ただしくなりました。皆さま、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

今年は、英国のEU離脱、米国ではトランプ氏が次期大統領に当選するなど、世界史の転換期を迎えています。

ミレニアム・プロミス・ジャパン（MPJ）も、今年から新たに国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、国際協力を続けていく所存でございます。また、本年は、MPJ設立以来の会長・北岡伸一（現・JICA理事長）の後任として、渋谷健司氏（東大大学院医学系研究科国際保健政策学教室教授）にご就任いただき、グローバルヘルス分野にて支援活動を開始するため準備中でございます。まずは以前から支援活動を行っているウガンダにて、重要な国際問題となっている南スーダンからの難民支援を開始いたします。

特にこの度のお願いは、来年（2017年）に迎える認定NPO法人（3,000円以上のご寄付は税制・所得控除の対象）資格更新に関するご協力でございます。更新条件として毎年100名様のご寄付が求められております。日頃ご支援いただく皆さまに、是非ご理解とご協力を賜り、身近な方々へのお誘いなどお願い致します。

今後もMPJは人道支援活動に邁進致したく、心からお願い申し上げます。

鈴木りえこ 拝



2016年10月、ウガンダの南スーダン難民居住区で子どもたちと

このご案内は、理事長・鈴木りえこが名刺を交換させていただいた皆様にお送りしています。

南スーダン難民支援事業開始に向けて

この夏（2016年7月）独立5年を迎えた南スーダンでは大統領派と副大統領派の間で武力衝突が勃発しました。命からがら逃げ延びた大量の難民がウガンダに押し寄せています。現在、ウガンダ国内で暮らす南スーダン難民は50万人近くにのぼり（2016年11月現在）、大半が南スーダンと国境を接する北部にいます。

MPJでは、10月に理事長・鈴木を含む調査チームを派遣し、ウガンダ北部ウエストナイル州のアルア県、ユンベ県、アジュマニ県内の難民居住区を視察し、南スーダン難民支援事業開始を決定しました。

南スーダンの情勢はいまだ安定せず、7月以降は毎日2,000～3,000人、多い日には6,000人近くの難民がウガンダにたどり着きます。南スーダン国内では虐殺、強盗、村の焼き討ち、レイプなど残虐な行為が繰り返されているとの情報もあります。

ウガンダにいる南スーダン難民の約85%が女性と子どもで、紛争下の体験によって身体だけでなく心に深い傷を負った人は少なくありません。しかし、そうした人々のメンタルケアやその先の自立に向けた支援は行き届いていないのが現状です。

難民居住区内の様子

（右）アルア県レセプションセンター到着した難民の人々がまず登録手続きや健康診査を受けるレセプションセンターで。祖国を逃れ、心身ともに疲れた様子の人々の姿に、非常に心を痛めました。



（左）ユンベ県居住区内ヘルスセンターヘルスセンターの多くが仮設テントです。スタッフ、医療設備、薬などのあらゆるものが不足し、ここで働くスタッフも簡易テントで生活しています。



（右）アジュマニ県のパギリニャ居住区6月に開設したばかりのこの居住区はすぐに定員（2万2千人）に達してしまいました。難民たちは、国際機関から配布されるビニールシートで天井を覆った簡易住居で不安な日々を過ごしています。

MPJでは、今回訪問したウガンダ北部の難民居住区において、とくに女性と子どもを対象としたメンタルヘルスケアや自立支援事業を来年早々にも開始できるよう計画を進めています。

SDGsの取り組み開始に伴い、新たな活動方針を発表しました！

2016年8月、MPJは今後の活動方針についてプレス発表をいたしました。これまでMPJは、「ミレニアム開発目標(MDGs)」達成への寄与を目的に活動して参りましたが、MDGsは2015年末に目標達成期限を迎えました。それに伴い今後は、新たな開発目標である「持続可能な開発(SDGs)」達成への貢献に精進致します。

具体的には「グローバル・ヘルス、難民、女性」を基本テーマとした取り組みに注力していく所存です。

これらの事業をより一層充実させていくためにも、引き続き皆様方からのご理解とご支援が必要です。宜しく願いいたします。今後のMPJの取り組みは、強く現地から求められています。

新活動方針の詳細な内容は、MPJホームページよりご覧いただけます。

ミレニアム・プロミス・ジャパンとは

サハラ砂漠以南のアフリカ諸国の人々の自立支援を行うため、ニューヨークに本部を置くNPO・ミレニアム・プロミスのグローバル・アライアンスとして、2008年に日本で設立された認定NPO法人です。

これまで、ウガンダでの女兒就学支援、小学校建設、マラウイやフィリピンでの被災地支援、日本国内での講演会やシンポジウムの開催などを行ってきました。



2016年の活動

2月



MP Jユース
ルワンダ派遣

2月



ウガンダ
ミレニアム・ビレッジ
視察

5月



五月祭講演会・交流会
「アジア・アフリカと
持続可能な開発目標」
(MP Jユース主催)

6月



MP J第29回研究会
「アフリカの政治と開発
～ルワンダをめぐる～」
講師：武内進一先生

7月



ケニア大使公邸にて
レセプション開催
(TICADに向けて)

8月



TICADVI@ナイロビにて
サイドイベント実施

10月



ウガンダ
リヤミヨンガ小学校
ペンキ補修

10月



東京都東大和市立
第二中学校にて
講演会

今年は新しい国連開発目標SDGs発行という節目の年となり、MPJにとっても新事業開始に向けた種まきの時期でした。南スーダン難民支援事業のほかにも、マラウイでのバオバブオイル生産・販売を通じた農民グループ支援事業の準備もすすめております！

MPJが6年間就学支援した女兒が東アフリカのトップ大学へ入学しました！

ウガンダのミレニアム・ビレッジ、ルヒーラ村にてMPJが2010年から支援してきたMary Gloria Kyosyabireさんが、2016年、東アフリカでもトップクラスの優秀な学生が集まるマケレレ大学（カンパラ）へ入学しました。

Mary Gloriaさんは8人兄弟の4人目に生まれ、農業で生計を立てる両親は経済的な理由から村で一番の成績で小学校を卒業した彼女を中学校へ通わせることができませんでした。MPJはそんな彼女がウガンダでも有数のセカンダリースクール（6年間）へ通うことができるよう、学費と寄宿舎費を支援しました。

現在、Mary Gloriaさんは、大学で生物学を学んでいます。将来は博士課程まで進み、ラボラトリーで働き、日本へ行きたいという希望を笑顔で語ってくれましたことをご報告します。



2016年、再会を果たした
Mary Gloriaさん（中）と鈴木（右）

ご寄付の方法について

ご支援（寄付）には、（1）サポーターとしてご寄付いただく（2）正会員として会費をお支払いいただくの2種類の方法があります。

(1)サポーター (寄付)	個人 (3,000円～) 法人 (30,000円～)	ミレニアム・プロミス・ジャパンは認定NPO法人です。ご寄附は、 税額控除・所得控除の対象となります。
(2)正会員 (会費)	個人 (年会費10,000円) 法人 (年会費100,000円)	総会に参加することができます。また、MPJが主催する研究会等への参加の優待を受けることができます。

お申し込み方法

①同封の振り替え用紙でのお支払い

- 下記内容をEメール:mpjapan@drive.ocn.ne.jp
又はFAX:03-5842-2802宛に、ご連絡ください。
・支援方法（寄付or会費 いずれかを明記下さい）
・氏名 ・ふりがな
・郵便番号 ・住所 ・電話番号
・Eメールアドレス ・ご職業（任意）
・入金方法
（郵便振替にてお支払の旨、ご明記ください）
- 同封の振替用紙に必要事項をご記入のうえ、郵便局にてお支払いください。

②クレジットカードでのお支払い（個人の方のみ）

ご利用可能なカードは、VISA・Master Card・AMEX・JCBです。MPJホームページよりお支払いいただけます。

- MPJホームページ トップページ
(<http://millenniumpromise.jp>) 右側のアイコン「寄付募集」をクリック
- 「寄付のお申し込み」または「正会員の申し込み」をクリックし、決済画面で必要事項をご入力ください。

③ジャパングビングからのお支払い

- インターネットで、「ジャパングビング MPJ」で検索
- 「寄付する」をクリックし、必要事項をご入力ください。

ジャパングビング サイト開設記念！ ご寄付を頂いた方にプレゼント進呈中！

ジャパングビングは、日本最大のファンドレイジングサイトです。

ジャパングビング（③の方法）から3,000円以上のご寄付をいただいた方に

その1. MPJが開催する研究会や著名講師による講演会への無料参加に加え、交流会などのスペシャルイベントへご案内いたします。

その2. さらに、アフリカをモチーフとした素敵なポストカードorマラウイ産のバオバブオイルのサンプルのどちらかをプレゼントいたします。



経済 国際平和 途上国

ミレニアム・プロミス・ジャパン (MPJ) のアフリカ支援活動に、あなたの力を貸してください！

日本最大のファンドレイジングサイト
JAPANGIVING



極度の貧困に、終止符を。いま、私たちの世代で。